

1. 理解促進

市役所庁舎をはじめ、各区の催しなどで地域の小規模作業所製作品の販売コーナーを設けたり、市内の公共施設を利用してミニ展示コーナーを設けるなど、がんばっている障がい者への理解促進につとめてください。

2. 住居

安心して暮らせる住居の確保。

①市営住宅の車いす対応戸数をもっとふやす。

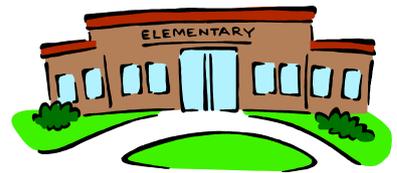
②市営住宅に障がい者優先枠をつくる。さらに、特に単身者の住宅さがしが

困難なので、居住サポート事業を実施する。

③知的障がいの人や精神障がいの人向けだけでなく、身体障がいの人のグループホームも補助対象とする。

3. まちづくり

安心・安全に社会活動ができる街づくり。



①臆することなく出かけられる街への改革。

◆ 公共施設を建設する際は、設計段階より障がい者の意見を聞いてほしい。

◆ これからも道路の段差解消や、点字ブロックの正しい敷設（色、形）につとめてください。

◆ ノンステップバスをもっとふやし、障がい者やお年寄りも利用しやすくしてください。

◆ 歩道、横断歩道について、重点的に除雪すべき箇所や、除雪の仕方などについても、障がい者や障がい者団体の声を聞いてください。

②積極的に活動できる地域づくり

ちいき しょう しゃしせつ さぎょうしょ ちょうないかい かくしゅかつどう つう
地域にある障がい者施設や作業所などと町内会とで、各種活動を通じて
そうごうりゅう
相互交流をはかる。

4. 就 労

せつきょくてき こよう すいしん
積極的な雇用の推進。

①札幌市でも障がい者の別枠採用を既に行っているが、関連団体、外郭団体
かんれんだんたい がいかくだんたい
への雇用を進めたり、民間企業での雇用機会の促進、法定雇用率の遵守にも
こよう すず みんかんきぎょう こようきかい そくしん ほうていこようりつ じゆんしゆ
一層つとめてください。

②就労機会の推進

- ◆ 広報さっぽろの配付を小規模作業所へ委託
- ◆ 公園の清掃

③すべての障がい者が利用できるようにジョブコーチ制度を充実させる。

5. 教 育

①生徒、学生および教職員の障がい者に対する理解を深めてもらうために、

わたし せつきょくてき きょうりよく
私たちサポーターも積極的に協力します。

まず、小・中学校の総合学習の時間等を利用して、障がい
しょう ちゅうがっこう そうごうがくしゅう じかんなど りよう しょう
い(者)に関する授業を行ったり、障がい当事者の話を直
しゃ かん じゆぎょう おこな しょう どうじしゃ はなし ちやく
せつき きっかけ つく
接聞くような機会をもっと作ってください。



②学校施設のバリアフリー化とともに、統合教育を推進する。

③高等教育へ進むための環境づくり

しょう しゃ だいがく せんもんがっこう すず しょうがくきん せいど けんとう
障がい者が大学や専門学校へ進むための奨学金制度について検討してい
ただきたい。

6. 防 災

せつきょくてき しえんたいせい きょうりよく
積極的な支援体制づくりに協力します。

① プライバシーより“命”が大切です。

要援護者のリストを作るために、関係機関共有方式、手上げ方式、同意方式など全国各地で試行されていますが、私たちも積極的に協力しますので、早急な支援策作りを検討していただきたい。

② また、支援策作りには、ぜひ三障がい当事者（身体、知的、精神）を参画させていただきたい。

7. 福祉サービス

各種福祉サービスを、選択の範囲も含めて十分に周知していただきたい。

「あなたには、こういう制度がありますよ。使えますよ」ということを、積極的に周知していただきたい。

8. 情報・コミュニケーション保障

聴覚、視覚障がい者に対するあらゆる情報・コミュニケーションの保障。

① 市の郵便物に点字シールを貼る、パンフレットなどにSPコードを付ける、ホームページを障がい者が利用しやすくする、等々障がいによるあらゆる情報格差をなくすようつとめてください。

② 手話通訳者、要約筆記通訳者育成の一層の強化と、点訳の利便性向上。

9. 提言の実行

① 前回、前々回の提言書において「中・長期的な検討が必要」との回答が3分の1ありますが、その後の進捗状況についてお聞きしたい。（項目別途）

② 提言書並びに取り組み状況について、すべての市議会議員、市職員に周知し、障がい者が直面している問題について認識していただきたい。

（以上）